



こんにちは **日本共産党**

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1（清水事務所）

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

日野自動車工場跡地を考える会

まちづくりマスタープラン学習会で活発な議論

11月20日、日野自動車工場跡地を考える会は日野市都市計画課を講師に招き、まちづくりマスタープランについて学習会を開催、周辺住民ら23人が参加しました。

日野市まちづくりマスタープランは1000人以上の市民が5年間にわたる議論を尽くして2003年に制定されました。

日野市のマスタープランの特徴は、道路などの「都市計画」ととどまらず、市民のくらしまで含めた「まちづくり」について書き込まれている点にあること。策定から10年余が経過し、社会情勢や地域の課題

の変化に応じた見直しが必要となり、4年をかけて検討がなされ、この12月に素案が発表される予定であることなどが、都市計画課の方から説明されました。

また、日野自動車工場のような「産業、大規模跡地」については、産業系の土地利用を可能な限り継続していくようお願いするが、やむを得ず工業以外の利用に変更する場合には、あらかじめ対話をおこない、土地利用の方針を見出していくとの方針が示されました。

日野台の住民100人から寄せられた声を活かして

その後の質疑応答では、参加者から「日野自動車工場跡地の利用は、周辺住民に大きな影響を与えるということを理解してほしい。いまの住環境を守って欲しい」「考える会が日野台にお住いのみなさんに行ったアンケートに100人の方から回答があり、スーパーや公園、南北道路がほしいという声や、高層マンションや巨大物流センターは困るといった声が寄せられているが、こうした声を反映させるにはどうしたらよい

か」「私たちが出した意見にもとづいて日野市は日野自動車との交渉をしてくれるのか」などなど、活発な質問、意見が出されました。

都市計画課は「アンケートで寄せられた声は、ぜひ、教えていただきたい。すべてに目を通し、マスタープランに反映できるものは反映し、それ以外のものも、日野自動車の今後の土地利用の中で参考にさせていただきたい」と述べました。

工場跡地利用計画に住民の意見を反映させるには

周辺住民の大きな関心は、日野自動車工場跡地の活用方法に関して、住民の意見を反映させることができるかどうかという点にあります。

この点については「あらかじめ対話を行い、土地利用の方針を見出していく」という方向が示されています。

しかし、「あらかじめ」とは、どのくらい前からなのか、「対話」に参加できるのはどのようなメンバーなのかといった詳細は不明です。

質疑の中で、「日野自動車工場跡地をまちづくり条例で定める重点地区（囲み参照）に指定すべきではないか」との意見が出されました。

たしかに、日野自動車工場跡地問題は、周辺住民だけでなく、日野市や市民、商工業者にも大きな影響を与える問題です。

日野自動車の協力のもと重点地区に指定

重点地区とは

まちづくり条例では、まちづくりに関する施策等において重点的な整備、開発及び保全が必要とされている地区や、周辺地域に大きな影響を及ぼすことが予想される大規模開発事業の予定地及びその周辺地区などを「まちづくり重点地区」として指定することができるように定めている。

重点地区として指定されると、その地区の住民等により構成される協議会が設置され、「重点地区まちづくり計画」を作成する。

し、周辺住民、公募市民、商工会など関係団体や専門家も交えて、今後の土地利用についてしっかりと協議し、計画をつくる必要があるではないでしょうか。

畑だより・・・

カブ、大根葉、小松菜が一斉に収穫時期を迎えました。とりたてのカブは、みずみずしく、いくらでも食べられます。

大根葉は育ちが早くうかうかしていると「葉」ではなく「ほぼ大根」になってしまうので急いで食べなければなりません

絵本の「はらぺこあおむし」の気分です

